

第 310 回市民医学講座

平成 11 年 1 月 21 日 (木)
仙台市役所 8 階ホール

声のかすれとえへん虫

東北大学医学部耳鼻咽喉科
講師 朴沢 孝治

声は喉頭の中にある二枚の声帯によって作り出されます。声帯は深呼吸をするときには V 字型に開きますが、声を出すときには左右の声帯が互いに正中によって狭い間隙を作り、吐き出す空気がこの間隙を通る時に振動して声ができます。大きな声を出すときには声帯の緊張を保ちながら吐く息の量を多くし、高い声を出すときには声帯を緊張させることにより私たちはいろいろな声を使い分けています。声帯の長さには個人差があり、長いほどその人の声は低い声になります。したがって、喉仏が目立つ成人男性は低い声に、女性、小児は高い声となっています。本日は、この声帯を含む喉頭の病気についてお話しします。

声のかすれ

今年の冬は、風邪が大流行でした。風邪をひいて早くやすんだ翌朝声が全くでなくなり驚かれた経験をお持ちの方もいらっしゃると思います。しかしこのような声のかすれは、通常すぐに回復します。もし 1 ヶ月以上も声のかすれが続くなら、喉頭に何らかの異常が生じている可能性があります。声がかすれるという症状は、左右の声帯が作る間隙が広くなり息が漏れてしまったり、声帯の振動が抑制されるようなときに起こります。例えば風邪のときには声帯が赤く腫れてしまい振動が正常に起こらず、また左右の声帯がうまく合わないために声がかすれてしまうのです。それでは以下に声のかすれる病気にどのようなものがあるか過去のカルテを見てみましょう。

1) 声帯ポリープ

A さんは新米の保母さんです。毎日元気に子供たちと歌を歌ったり本を読んだりしていましたが、秋になり声がかすれているのに気がつきました。最初は風邪かなと思っていましたが長くつづくので病院を受診しました。A さんの声帯にはポリープができ声帯の合わせりがうまくいなくなっていました。声帯ポリープは声をよく使う人にみられる良性の疾患です。学校の先生、魚屋さん、看護婦さん、民謡、カラオケが趣味の人などに起こります。小さい場合は、喉を安静にするだけでポリープの消失を見ることがあります。慢性化したものでは手術が必要になります。10 日間の入院が必要ですが、口を通して手術しますので外見上傷をつけずに声のかすれを治すことができます。A さんも冬休みを利用して手術を受け職場に復帰しています。

2) 神経も声に影響

Bさんは風邪の症状の後声がかすれました。喉の痛みもとれたのに声のでないのので外来を受診しました。片方の声帯が動かないため声帯が正中によらず息が漏れて声がかすれているのが分かりました。声帯を動かす神経を反回神経と言いますが、この神経が麻痺すると声帯は可動性を失います。脳梗塞を初めとする脳神経疾患、甲状腺、食道、咽頭、肺、心臓の病気やこれらに対する手術の後に神経が麻痺することがあります。Bさんの場合はウイルスが神経を侵したための麻痺で幸い2ヶ月で回復しました。6ヶ月待っても回復が見られない場合は手術的治療が適応となります。声帯の間隙が小さいときは声帯に注射を打つことにより声の改善が見られますが、広いときには声帯を正中に移動する手術が行われます。

3) 喫煙と喉頭がん

Cさんはヘビースモーカーです。20歳のころから60歳の今まで毎日30本のタバコを切らしたことがありません。昨年かから声がかすれて最近痰に血が混じるようになり病院に来院されました。声帯の片方にがんが見つかりました。喉頭がんは肺がんと同じく喫煙との関連がはっきりしている疾患です。一日に吸うタバコの本数と喫煙年数をかけた数が600を超えると発がんの危険度が高くなりますから注意してください。Cさんはこの指数が1200でしたが早期に見つかったので手術はせずに放射線治療のみで完治し元気に退院されました。もちろん禁煙されたことはいうまでもありません。さて、代表的な三つの病気をご紹介しましたが、声のかすれを訴えられる患者さんにも様々な病態があることがわかりただけたと思います。今回ご紹介した3例の病歴の特徴を念頭に声のかすれが1ヶ月以上続くときは耳鼻咽喉科を受診し早期診断早期治療に心がけるようにして下さい。

えへん虫

さて、次にえへん虫についてお話しします。私の外来をのどがいらいらする、ご飯はよく通るが、のどに何かつまっている感じがする、夜咳がひどくて眠れないといった、のどに関する多彩な訴えで受診される患者さんがいらっしゃいます。内科の先生に診ていただいても、肺、気管には異常がない場合が多いようです。このような症状の原因として、慢性副鼻腔炎いわゆる蓄膿症、慢性扁桃炎、自律神経の緊張による咽喉頭異常感症などの病気が知られていますが、このほか最近話題になっているものとして胃酸が食道、咽頭に逆流する逆流症があります。胃酸によってのどの粘膜がただれてしまって、のどにさまざまな症状が生じます。胸やけの症状があるときは診断が付きやすいのですが、のどの症状のみを訴えられる場合もあります。胃酸を抑える薬を服用することによって劇的にえへん虫がいなくなることがあります。このほか、就寝前2時間は食事をしない、枕を高くして胃酸の逆流を防ぐ、ビール、炭酸飲料、柑橘類、高脂肪食は避けるといった生活上の注意も必要です。